



港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

2018年
6月7日
NO. 104

ダイジェスト版

仲間の信頼
力に変えて
さあ踏み出そう
組織の拡大へ
HP <http://www.e-nru.com/>

6月7日 第2回 夏季手当交渉開催!

**組
合**

社員は、新社長からの「これからのJR東日本を築いていこう」とのメッセージを受け取った。そのためにも社員の士気向上が不可欠である。「6期連続かつ過去最高」との好調な実績を作り出した社員・グループ会社社員への還元を強く求める。

人材確保のためにも、JR東日本を選択してもらえる 初任給増額や労働条件の向上を図ることを求める

< JR東日本会社より基本的スタンスが示される! >

- 平成29年度決算（単体）は、増収増益となり営業収益と当期純利益は過去最高。これはすべての社員が、安全・安定輸送のさらなるレベルアップやサービス品質の向上、様々な増収施策等に取り組んだ成果であり、感謝申し上げる。
- 生産性向上をはじめとした諸施策について、時間軸をしっかりと意識し、スピード感を持って推進していくこと、社員が気兼ねなく自己啓発活動やチャレンジに取り組める職場風土をつくること、職場秩序を維持し安心して働ける環境をつくることを改めて求める。
- 期末手当の水準は、業績動向を踏まえつつ、5期連続の基本給改定や昨年度の管理手当等及び扶養手当の見直しによる基準内賃金の増加等も含め、総合的に判断することが必要。
- 平成28年度決算は増収減益であった。今回の平成29年度決算は増収増益であるが、期末手当は直近の業績、増益ではあるが昨年の減益に対し戻りが弱い状況である。

2016年度の「増収減益」から2017年度は「増収増益」との 実績を作り出した社員・グループ会社社員の努力があってこそ

初任給改善・管理手当・扶養手当などの改善が実施され、
基準内賃金のベースも上昇がされてきたが、さらに、

全社員が実感の持てる

「前年比増月数」以上を!